

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	大規模防護柵設置事業	担当者	小松・櫻井	建設農林課 農政係・林務係
-------	------------	-----	-------	---------------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	3. 地域を支える力強い産業の村／産業の振興／農業の振興・林業の振興・鳥獣対策			
関連する主な計画等	鳥獣被害防止計画			
根拠法	阿智村有害獣大規模防護柵設置要綱、阿智村大規模防護柵設置推進事業交付金交付要綱			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	被害防止対策事業実施者			
事業開始年	H24	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	H28 <input type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	農地、集落を物理的に囲うことにより、将来にわたって優良な農地を獣害から守る。また推進事業により、山林等の伐採に要する経費に対し、予算の範囲内で助成することで防護柵の設置を推進する。					
具体的取組	測量委託1地区（智里） 防護柵設置 智里6,502m 伐採助成 （2地区 伍和、智里）					
実績・効果	被害を与える鳥獣の個体数調整の推進がなされた。 設備補助を行うことにより、被害の未然防止が図られた。					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	委託料	626				
	工事請負費	35,068				
	補助金	34,606				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	64,926	39,942	52,362	79,250	7,000
	うち一般財源	37,432	29,546	17,756	59,450	0
	うち補助金	27,494	10,396	34,606	19,800	7,000
	うち個人負担					
従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1	1
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定
必要性	住民のニーズは高いか	a 被害発生地区の住民のニーズは高い	A
	手段、成果は妥当か	a 現状では妥当である	
	対象者の設定は妥当か	a 希望地区すべてを対象としている	
	村の関与は妥当か	a 必須施策である	
有効性	期待された効果が得られたか	被害の拡大防止と、その予防がなされている。	A
効率性	コストの削減に努めたか	b 有利な制度を利用しコスト削減をした	B
	効率性を高める工夫はされたか	a 伐採経費の補助を行い効率を高めた	
公平性	受益者負担は適切か	負担はない	A
総合評価	A		

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	猿の被害対策と維持管理
今後の取り組み	さらに防除効果を高めるための施設の導入